令和8年9月16日(水)定例記者会見録
「令和8年度諫早市緊急干害特別対策事業」ほか

大久保市長
今日は８つの項目をお知らせします。
１つ目、令和８年度諫早市緊急干害特別対策事業です。
７月８日梅雨明け以降、まとまった雨が降っておりません。
８月１３日に、諫早市渇水対策連絡室を県内に先駆けて設置して、その中ではポンプの購入や発電機のリースに関わる経費の一部を補助する支援をしておりましたが、その後も雨が降らないために、非常に農家の皆様ご苦労されています。
少ない水を有効利用する中、ポンプや発電機をずっと稼働させる燃料費、電気代等々が高額になってきている状況です。
農業の現場の農家の皆さん、農業委員会や市議会の方からもご意見をいただき、農家の皆さんの負担軽減を図るため、おそらく県内初だと思いますが、燃料費に要した経費を助成させていただきます。
５５％というのは、この特別がつかない緊急干害対策事業の補助率を適用していますので、これでしっかり農家の皆さんが農業の営みを進めていただければと思います。

２つ目、諫早市ＰＲ大使の委嘱です。
現在、体操キングの内村航平さんをふるさと特別大使ということで、ＰＲ大使に漫画家の草野道輝さん、歌手の茜つばきさん、歌手の松尾雄史さん、おもてなし大使としてうないさんということで、５名の大使の皆さんにご活躍いただいていますが、今回新たにお二人、諫早市のＰＲ大使に委嘱します。
お一人目、まつおはるかさんです。
幼少期を諫早市高来町で過ごされ、小学生の時から芸能活動を開始して、ＣＭや番組ＭＣ、過去には長崎ランタンフェスティバルの皇后役を務められたり幅広く活躍中です。
今回ご縁がありまして大使をお引き受けいただけることとなり、大変嬉しく思っています。
お二人目が野上唯子さんです。
諫早市多良見町出身で、番組リポーターのほか、ラジオのパーソナリティとしてご活躍です。
いずれも明るいお人柄で、覧になってる方を元気にしてくださる方です。
野上さんが諫早市を紹介する番組ロケで市役所を訪問されたことがきっかけで、大使就任を快くお引き受けくださったということです。
２人の新しい大使の就任式は、１０月１２日（月）開催のＩＳＡＨＡＹＡ ＳＭＩＬＥＤＡＹで執り行う予定です。
当日は新大使によるお菓子まきや抽選会も予定していますので、イベントに参加される皆さんに広くご紹介していただければと思います。

３つ目、アメリカ合衆国テネシー州アセンズ市、諫早市と姉妹都市締結、今年で４０周年です。
昨年、このアセンズ市の市長、行政トップのシティマネージャーが諫早市にお越しいただいた際に、来年はということでお招きいただきました。
１０月１８日から２３日の４泊６日で、テネシー州アセンズ市を訪問します。
訪問にあたっては私以外にも市議会議長、商工会議所をはじめとする経済界、あるいは諫早市芸術文化連盟、いさはや国際交流センター、鎮西学院大学など民間組織の皆さんも一緒に訪問団を編成して、姉妹都市としての関係を深めてまいりたいと考えています。
訪問先では日系企業のデンソー、大手のメイフィールド乳業などの視察、テネシー・ウエスレヤン大学というのがあり、鎮西学院大学も長崎ウエスレヤン大学と称していた時もありましたので、そういったところへ訪問をしてきます。
今回の訪問で文化面、教育経済分野での交流促進を図っていこうということで、特に若い世代の国際交流の今後の担い手を育成することを目的に、アセンズ市側といろんな協議を行いたいと考えています。

次に「ＩＳＡＨＡＹＡ ＳＭＩＬＥ ＤＡＹ」です。
開催日は１０月１２日（月・祝）で、スポーツの日です。
主催は諫早市と、昨年結成しましたいさはやスポーツコミッションです。
今回、民間組織として諫早商工会議所青年部（諫早ＹＥＧ)、ルノン株式会社と共催によって開催します。
会場は大きく２つ、メイン会場が市役所前の中央交流広場、内村記念アリーナです。
当日はシャトルバスでこの２会場を周回しながら、内容的はさまざまなスポーツ、職業体験はじめ、食や健康などを楽しむことができるイベントということで計画しています。
内村記念アリーナの方では、諫早市ふるさと特別大使の内村航平さんに来ていただき体操教室、スポーツと英語が融合したイングリッシュスポーツキャンプ、体の筋力などを測定できるＩｎＢｏｄｙ（インボディ）の体験、さまざまなハンドメイドを楽しめるルノンマルシェ、会場の近くにはキッチンカーがたくさん集まり、にぎやかになると思います。
市役所前広場のステージではいろんなステージイベントもあります。
隣の諫早高校のグラウンドでは、子どもたちに大人気のハンターから逃げるイベントを計画しています。
イベントの最後には、各ブースをめぐってスタンプを集めた方が参加できる大抽選会も予定しています。

１０月１２日スポーツの日は、ぜひＩＳＡＨＡＹＡ ＳＭＩＬＥ ＤＡＹにお越しいただいて１日中楽しんでいただきたいと思います。

次に、眼鏡橋環境再生整備事業です。
諫早市のシンボルの国指定重要文化財眼鏡橋です。
昭和３２年が諫早大水害ということで、その４年後の昭和３６年に今の諫早公園に移設されました。
それ以来の整備ということで６５年ぶりのかなり大がかりな環境整備を行います。
作業期間は１１月の初旬から１２月の初旬の約１か月間で、その間は足場を組みますので、安全確保ということで、眼鏡橋への立ち入りは禁止です。
市民の皆様にご理解ご協力をいただきたいと思います。
そういう状況の中ですが、この整備期間中の１１月２２日（日）に設置した足場を用いて、眼鏡橋を間近でご覧いただく、諫早市民限定の見学会を実施します。
参加申し込みは諫早市のホームページでご案内をしておりますので、お知らせします（先着順）。
１日だけ見学ができる日を設けていますので、ぜひその日はアーチを支える巨大な石組みを間近で見て触れて、江戸時代からの歴史を体感していただきたいと思います。

次に、２０２６のんのこ諫早まつりです。
まさに諫早を代表する市民総参加のお祭りです。
まつり振興会また実行委員会の皆様には本当に毎年早い時期から準備をしていただき、心から感謝を申し上げます。
のんのこ街踊りは祭りでありましても、毎年たくさん参加いただいていますが、今年は総勢５６団体、そして約3,３００人の参加予定です。
そしてその他にも郷土芸能、またステージイベント、ダンスコンテストなど2日間にわたって、多彩な催しがあります。
会場は市役所前の中央交流広場がメイン会場です。
来年以降は場所が変更になります。
市役所前広場に、（仮称）市民交流センターを整備していく準備に入りますので、正式には振興会の理事会が１０月に開催ですので、そこで来年以降ののんのこ諫早まつりの会場が決まります。
最終日には打ち上げ花火も予定しておりますので、ぜひこの9月１９日・２０日の2日間多くの皆さんに会場にお越しいただいて、諫早の熱気を感じていただければと思います。

次に、西九州新幹線開業４周年記念イベントです。
１０月３日、「かもめのよりみちフェスタ in 諫早」を開催します。
今回４周年の“4”にちなんで、夜をテーマにしたお祭りが午後８時まで新幹線各駅で開催されます。
例年諫早市も駅周辺で開催していますが、今回は長崎県の主催のイベントも諫早市役所前の広場であります。
諫早駅では盆踊りなどのステージ、ＪＲオリジナルのかもめ音頭に加えて、意外な曲で踊る盆踊りを予定しています。
スタンプラリーは、開運 福めぐりということで、よりパワーアップして今年も実施します。
駅長おすすめグルメで、ＪＲ九州管内の駅長対抗の、今年はカレーということで、諫早の駅長推薦は、いさはや海と大地のカレーです。
当日限定で諫早駅で販売しますので、ぜひご賞味いただいて、選挙がありますので、ピッと諫早駅のカレーを押して（投票）いただければと思います。
市役所前の会場では長崎ミュージックフェスマラソンの公式応援ソングを手掛けた、ＦＵＮＫＩＳＴ（ファンキスト）の皆さんのスペシャルライブも予定していますので、楽しんでいただければと思います。

最後に、諫早市のフォトコンテストです。
公式インスタグラムでやっているフォトコンテストで、いろいろテーマを決めてやっていますが、今回7回目ということで、毎回素晴らしい作品が数多く寄せられていて、非常に審査をするのも大変なぐらいいい写真があります。
このフォトコンテストは、市民の皆さんと市が共同で取り組むひとつのシティプロモーションではないかなと考えています。
過去のフォトコンで優秀な成績を収められた中から市民フォトグラファーを委嘱して、普段気づかない諫早の魅力が詰まった写真を、今もご提供いただいています。
今年のテーマは、「誰かに教えたい諫早」ということで、去年は「２０年後の未来にも残したいあなたの諫早」でしたが、「誰かに教えたい諫早」ということですので、何気ない日常で見かけた、ふとした瞬間を撮影いただいた写真にタイトルをつけて応募していただければと思います。
自分だけが知っている景色や場所など、素晴らしい作品が多く集まることを期待しています。